

10 地域へのPR活動について

岩泉営林署 総務課長 高橋 進

1 はじめに

当署が所在する岩泉町は国有林野率が高く、森林面積が94パーセントを占め、酸素一番宣言、森と水のシンポジウムなど、森林に対する意識の高い地域である。

このようななかで、職員がいかに地域と関わりを持ちながら「国民に開かれた国有林」・「国民と共にある国有林」づくりを推進することが一番大切なことと考えている。

当署では、

- (1) 紙芝居による森林教育。
- (2) 森林愛護少年団への指導、学校教育への協力。
- (3) 木材とのふれあい。

などを柱としたPR活動を展開したのでその活動について発表する。

2 PR活動について

(1) 紙芝居による森林教育

当署では手作りの「民話から学ぶ」『森林教室』の紙芝居を使い、小学校や各種団体の行事などに分かり易く森林の役割について指導している。

紙芝居は「大力大べえ」の民話から、大べえさんが勝手に山に入り、木を全部伐ってしまったら、その夜に山から大石が落ちてきて、家ごと潰されていなくなってしまう話、古事記の「スサノオノミコトが八又の大蛇を退治した話」から、八又の大蛇の体にはアカマツ、ヒノキ、スギなどが生えていたといわれていることなどの話から、木の消費量や災害を防ぐ働きフィトンチッドなどの「森林の役割」について、また日本書紀からはスサノオノミコトが鬚を抜いてスギと名づけ「これで船を作りなさい」、胸毛を抜いて「ヒノキ」と名づけ「宮殿を作りなさい」といった話から、木の使い方について教えるようになっている。

このような話から「森林の役割」などについて話すことにより、生徒や先生、並びに大人にも大変好評です。

この紙芝居を使うことにより、

- ア 分かり易い。
 - イ 意識が集中し、理解が深くなった。
 - ウ 先生方には参考になった。
 - エ 森林教室が容易になった。
- などがありました。

このような紙芝居の実施回数は、学校関係では6回で参加者は、生徒や先生、父兄を併せ325名で、団体関係では7回で303名の参加者となっている。

(2) 森林愛護少年団活動などへの指導

小学校の依頼による森林教室、植物観察、小鳥の巣箱づくりと巣箱掛け、学校林の育樹、樹幹流の測定などの指導を行っている外、材鑑用の材料としてブナ外50種の径級10cm高さ30cmの材を寄贈した。

さらに、体験学習に参加する機会が少ないとの話を聞いたので、岩手県主催のイベントで使用済みの体験学習用の「火おこし道具」を貰い受けて贈呈した。

その外、森林愛護少年団の学校の新入生及び森林教室に出席した生徒には、「南部牛追い唄」の発祥地であることから牛形のランドセル名札を作り贈呈した。

(3) 木材とのふれあい

当署では単に木の工作ではなく、木の特徴を活かし、さらに発想力を育てる木の工作を目指し次のような活動を行っている。

ア 小学生の木の工作について

当署では、木っ端を木工場や工務店から貰い受けて小学校に届け、図工室に置いて生徒に自由に使わせ、さらに、学校では工作の時間にも使っている。

はじめはキット中心でありましたが、生徒の発想力を活かし製作していることから先生方の「木の工作」に対する認識を変え、木の工作に取り組むようになった。

このようなことから、町民文化祭では木の作品が教育長賞を受賞し、父兄の学年行事にも木の工作が導入された。

さらに校長先生が卒業する生徒に対し、当署で贈った木で記念品を作り贈呈している。

イ 木のトロフィーの贈呈など

(ア) 防犯協会と営林署の共催によるゲートボール、少年野球、少女バレーボールロードレースなどのスポーツ大会に、木製のトロフィーを製作して贈呈している。特に龍泉洞のキャラクターマークの『龍ちゃん』を形どったトロフィーは好評である。

このトロフィーの発想力に感心し、岩泉町主催の町民大学、教育研究会、岩泉小学校の学年行事などに、「木の工作」の講師としての依頼がくるようになり指導を行っている。

(イ) 営林署の看板、また岩手県警察本部が提唱する『かも運転』のマークを木でつくり、門に取り付けて町民に交通安全を呼びかけている。

などの活動を行っている。

(4) その他PR活動

ア 岩泉町主催の『早坂高原まつり』では、紙芝居による森林教室及び樹木観察を指導、『おでんせ祭り』では木工品販売、分収育林のPRなどを行っている。

さらに『いわて林業祭』では、木工品の販売及び紙芝居による森林教室を行った。

イ 地域を意識した広報『いわいずみ』を毎月発行し、役場及び関係業界に配付し、また『龍ちゃん』マーク、『南部牛追い唄』など地域に相応した年賀状づくりで、地域のPRと併せて営林署のPRに努めている。

ウ 林業のリーダーとして、高性能機械の指導、並びに林業の活性化、森林の役割、安全などの講演を行っている。

3 おわりに

岩泉署が地域活動として行ってきたことを紹介しました。

営林署のこと、森林のこと、木のことなどを理解していただくためには、こちらから地域に入っていくことが大切と考える。

このような活動を続けていくことにより営林署の存在感が醸成されるもの考える。

今後も工夫しながら積極的に地域に入り、営林署らしさを発揮したPRに努めたいと考えている。

写-1 紙芝居



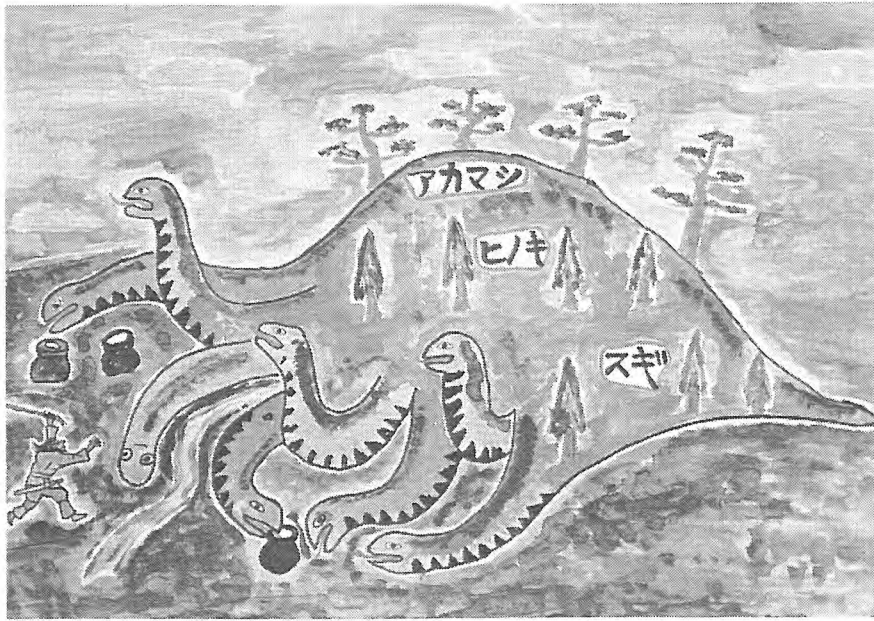
写-2 紙芝居



写-3 紙芝居



写-4 紙芝居



写-5 紙芝居

